

# Letter No. 29

## 雪崩分科会レター



2002年3月17日07:18, 妙高・幕の沢(標高1700m)で発生した大規模な湿雪雪崩(高度差900m, 水平距離2500m)。写真右下は雪崩発生検知システムのポール。遠藤八十一氏撮影。

2002年9月10日発行

(社) 日本雪氷学会 雪崩分科会

## 目 次

	頁
雪崩分科会例会のご案内.....	2
2001 年度事業報告.....	3
2002 年度事業計画（案）.....	4
2001 年度会計報告.....	5
2002 年度予算案.....	5
第 12 回雪崩対策の基礎技術研修会を終えて.....	6
第 13 回雪崩対策の基礎技術研修会開催のお知らせ.....	6
海外での学会参加費助成金の受給希望者募集について.....	8
分科会費納入のお願い.....	9
雪崩分科会役員.....	9

雪崩分科会のホームページができました。下記のURLでご覧になれます。

<http://www.argos-net.co.jp/bunkakai/>

## 雪崩分科会例会のご案内

10月に山形市で開催される日本雪氷学会全国大会の会期中に、下記のとおり雪崩分科会例会（総会、話題提供「東北地方の雪崩・森林・活性化」）を開催致しますので、ご出席下さいますようお願い致します。雪崩分科会員以外の方のご参加も大歓迎です。

### 記

1. 日時 10月10日（木）18:00～20:00
2. 会場 山形テルサ・交流室A
3. 総会 （18:00～18:30）
  - ・2001年度事業報告
  - ・2001年度会計報告
  - ・2002年度事業計画案
  - ・2002年度予算案
  - ・その他
4. 話題提供 「東北地方の雪崩・森林・活性化」（18:30～20:00）
  - ・山形県における近年の雪崩災害について  
防災科学技術研究所 雪氷防災部門 小杉 健二氏
  - ・積雪不安定斜面の森林造成  
山形大学名誉教授 塚原 初男氏
  - ・雪崩予防柵が地域活性化に与えた効果  
秋田県東成瀬村道路課 村岡課長
  - ・その他 国際学会の報告など

### 5. 懇親会

分科会終了後、懇親会を予定しております。場所は例会時にお知らせ致します。是非ご参加下さい。

## 2001 年度事業報告

### 1. 2001 年度雪崩分科会総会

日 時：2001 年 10 月 3 日 場 所：帯広市十勝プラザ 出席者：約 50 人

話題提供 「最近の北海道の雪崩事故」

- ・支笏湖畔雪崩 山田高嗣（北大低温研）
- ・北海道の雪崩 大槻政哉（日本気象協会）
- ・帯広周辺の最近の雪崩 上石 勲（アルゴス）
- ・ロシアでの雪崩シンポジウム報告 竹内由香里（土研新潟試験所）

### 2. ニュースレターの発行 (No. 27, 28)

### 3. 第 7 回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー開催

主催：雪崩分科会（昨年度まで日本雪氷学会主催）

日時：2001 年 9 月 30 日 場所：札幌市生涯学習センター 参加者：約 160 名

協賛：札幌市

後援：日本山岳協会，日本勤労者山岳連盟，北海道索道協会，北海道山岳ガイド協会，  
北海道自然体験学校 NEOS，北海道雪崩防止研究会，北海道登山者雪崩研究会

#### 1) 講演と報告

- ・北海道の雪崩教育・・・樋口和生（北海道雪崩事故防止研究会）
- ・北海進警察の雪崩救助への取り組み・・・佐藤隆幸（北海道警察本部）
- ・札幌市消防局の雪崩救助への取り組み・・・鈴木英昭（札幌市消防局）
- ・ニセコ町の雪崩情報と遭難救助体制・・・逢坂誠二（ニセコ町長）
- ・全国の雪崩事故報告・・・上石 勲（3.27 左保谷雪崩災害調査委員会事務局）

#### 2) 分科会(報告と自由討議)

- ・RESCUE（レスキュー） 消防，民間救助隊の雪崩救助
- ・EDUCATION（雪崩教育） 雪崩教育を行う団体の情報交換
- ・SAFETY（安全） スキー場の安全管理への取り組みと問題点

### 4. 雪崩研修会等の開催協力

#### (1) 第 12 回雪崩対策の基礎技術研修会（主催日本雪氷学会）

日 時：2002 年 1 月 17 日（木）～18 日（金）

会 場：室内研修：弘前大学（青森県弘前市）

現地研修：岩木山麓百沢スキー場

研修者：52 名（修了証交付）

#### 室内研修

雪崩の基礎知識と青森県の雪崩災害（和泉 薫），降積雪の基礎知識と雪崩発生（力

石國男), 雪崩発生・運動と予知・検知技術(阿部 修), 雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態(町田 誠), 雪崩対策工の計画・設計(上石 勲), 雪崩予測のための積雪の見方(小杉健二), 雪崩埋雪者の捜索救助(中山建生)

#### 現地研修

積雪観測法実習, 雪崩捜索・救助法実習(中山建生, 斎藤好且, 阿部 修, 小杉健二)

### (2) (財)日本鋼索交通協会主催第5回雪崩研修会

日 時: 2002年1月21~22日

場 所: 谷川岳ロープウェー天神平スキー場

研修者: 24名

#### 室内研修

志賀前山の雪崩事故の裁判について(板東克彦), 雪・雪崩・防災(和泉 薫), 海外スキー場の安全対策(出川あずさ), 雪崩研修会の意義について(福山和男), 雪崩対策(元村幸時), 谷川岳の冬山遭難の実態について(馬場保男)

#### 現地研修

ガゼックス・ビーコン・レッコ・ACE(花火)等の実習, 雪崩埋没体験

## 2002年度事業計画(案)

1. 2002年度雪崩分科会総会  
全国大会期間中に開催予定
2. ニュースレターの発行(2回)
3. 第8回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催
4. 雪崩研修会の開催協力
  - ・第13回雪崩対策の基礎技術研修会
  - ・その他研修会
5. 分科会員への研究助成
6. その他

## 2001 年度 会計報告

2001.4.1～2002.3.31

	費目	2001年度実績
収 入	繰り越し	586,102
	分科会費	133,000
	第12回雪崩対策の基礎技術研修会収支差額	196,349
	利息	543
	第7回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー収入	528,000
	テキスト送付手数料	12,000
	計	1,455,994

	費目	2001年度実績
支 出	第7回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー支出	528,000
	レター印刷費・送料等	82,190
	企画研究補助金	0
	旅費(幹事会等)	65,400
	通信費、文具・消耗品費	3,450
	会議費	2,360
	支払い手数料	955
	雑費	13,000
	計	695,355

収支差額(次年度へ繰り越し)

760,639

## 2002 年度 予算案

2002.4.1～2003.3.31

	費目	2002年度予算案
収 入	繰り越し	760,639
	分科会費	65,000
	第8回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー収入	220,000
	利息	1,000
	計	1,046,639

	費目	2002年度予算案
支 出	第8回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー支出	220,000
	レター印刷費・送料等	70,000
	企画研究補助金	50,000
	旅費(幹事会等)	25,000
	通信費、文具・消耗品費	5,000
	会議費	20,000
	雑費	5,000
	計	395,000

収支差額(次年度へ繰り越し)

651,639

## 第12回雪崩対策の基礎技術研修会を終えて

弘前大学理工学部 力石國男

雪崩分科会の和泉薫会長のご理解により、去る1月17～18日に東北地方では初めての雪崩対策の基礎技術研修会を弘前大学で成功裡に開催することができました。このきっかけは、数年前に白神山系で全層雪崩(途中までは表層雪崩かも)が発生して地元警察から協力を求められたとき、私自身、実践的な雪崩知識の不足を実感させられたことです。また地域住民が雪崩に巻き込まれないように、雪崩の基礎知識を普及させたいという願いもありました。幸い全国から多数の参加者があり、研修会そのものは盛況でした。しかし研修会終了の翌日、受講者の一人が岩木山の山スキーで雪崩に巻き込まれるというショッキングな事故が発生しました。人命に直結する災害科学に携わることの重みと怖さを改めて実感させられ、また無力感を味わう結果となりました。(「雪氷」64巻3号の報告書参照)

今回、研修会の事務局を担当させて頂いて、参加者の学習意欲が非常に高いことに強い印象を受けました。参加者の多くが、道路・電源・森林・河川・スキー場の管理者や工事担当者であり、職務として雪崩の知識や対策技術を必要としていたためかも知れません。限られた日程のなかで雪崩についての基礎から応用までの知識を授けるためには、研修内容が総花的になるのは自然なことです。でも彼らの旺盛な学習意欲を満すためには、選択制でもよいから、より深い内容の応用コースを企画してみるのも一考だと感じました。

また今回の事故で考えさせられたことは、冬山に係わる人々が雪崩に巻き込まれないように、雪崩の”動的な危険予測”を講習に加えられるかということです。もちろん、積雪構造、弱層テスト、弱層の特徴、危険斜面の斜度や特徴などは、危険防止の基礎知識として不可欠ですが、これらは”潜在的な危険度”を示しているという意味で、いわば”静的な危険予測”であるといえます。そこから一步踏み込んで、気象条件の推移から眼前の斜面の危険度を読むのが動的危険予測です。例えば、寒冷前線通過後にまとまった降雪があったので、新雪の下に霰の弱層が横たわっている可能性がありこの斜面は危険であるとか、数日好天が続いた後に50cm以上の新雪が積もったので下層に放射冷却による弱層が発生している可能性が高く非常に危険であるといった、気象変化に基づいた状況判断です。これは冬山の気象特性に基づいた実践的な危険予測であり、次の行動に移るべきかどうかの判断力を高めてくれるように思うのですが……

## 第13回 雪崩対策の基礎技術研修会開催のお知らせ

○実施月日案

平成15年1月22日(水) 23日(木) 24日(金)

○開催場所

室内研修 富山県立山町 立山砂防カルデラ博物館

現地研修 博物館周辺 雷鳥バレースキー場または極楽坂スキー場

○問い合わせ先

立山カルデラ砂防博物館 飯田 肇

### 研修会プログラム

室内研修 博物館		
1 日 目	13:00~13:30	集合・受け付け
	13:30~14:00	開校式・ガイダンス
	14:00~15:00	降積雪の基礎知識, 雪崩の発生と予測 和泉 薫
	15:00~16:00	斜面積雪の静力学と雪崩の動力学 川田邦夫
	16:00~17:30	博物館見学 雪崩VTR <意見交換会>
2 日 目	8:30~ 9:30	雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態 町田 誠
	9:30~10:30	雪崩対策の種類と計画 武士俊也
	10:30~12:00	雪崩対策の調査・設計 上石 勲
	13:00~14:00	雪崩予測のための積雪の見方 飯田 肇
	現地研修 博物館周辺	
	14:00~16:00	積雪観測法実習 飯田 肇, 川田邦夫, 和泉 薫 雪崩対策施設見学 町田 誠, 上石 勲
	16:00~17:30	雪崩埋雪者の捜索救助 中山建生
18:30~	<交流会> グリーンビュー立山(市町村共済)	
3 日 目	現地研修 スキー場	
	9:00~12:00	雪崩埋雪者の捜索救助法実習 中山建生, 地元講師 (雪崩ビーコン, ゾンデなど使用)
	13:00~14:00	修了試験, 閉校式, 修了証授与

研修会費 30,000円

懇親会費 5,000円 宿泊は基本的にグリーンビュー立山とする

## 海外での学会等参加費助成金の受給希望者募集について

雪崩分科会では、これまで分科会員の雪崩に関する研究に対して研究助成を行ってきたところですが、研究費としては金額が少ないこともあって最近に応募がない状態です。そこで、この研究助成の一環として、海外で開催される学会等で雪崩に関する発表を行う分科会員を対象に、参加費の助成を行うことにいたしました。

下記要領にて助成金の受給希望者を募りますので、特に若手の分科会員は奮って応募して下さい。

### 記

1. 対象学会等：海外で行われる雪崩に関する学会、シンポジウム、ワークショップ
2. 申請資格：以下の条件を満たすもの
  - (1) 雪崩分科会員
  - (2) 学会等に原則として全日程参加し、自らも発表を行う者
  - (3) 所属先等から出張旅費の支給がない者
  - (4) 学会等終了後に、雪崩分科会の求めに応じて口頭及び書面で参加報告を行う事を厭わない者
3. 募集人員：年間2名以内（2名の場合、参加先が別々であることが望ましい）
4. 支給額：各人5万円まで
5. 応募先：分科会事務局（書式は任意だが、発表者・発表題目がわかるプログラム等のコピーを添付のこと）

## 分科会費納入のお願い

今年度の雪崩分科会費を郵便振替で納入願います。金額は年額 1,000 円です。お手数ですが、郵便局の窓口において用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、払い込み願います。氏名と何年度分の会費かを必ずお書き下さい。前年度までの会費に未納のある方は、あわせて納入願います。口座番号等は以下の通りです。

口座番号:00670-0-26949, 口座名称:日本雪氷学会雪崩分科会

ご不明な点がございましたら、会計担当幹事(小杉健二氏)までお問い合わせ下さい。  
連絡先

防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所 新庄支所 小杉健二

### 雪崩分科会役員

会 長	和泉 薫	(新潟大積雪地域災害研究センター)
副会長	納口恭明	(独立行政法人防災科学技術研究所)
監 事	川田邦夫	(富山大学極東地域研究センター)
幹事長	上石 勲	(株式会社アルゴス・雪氷技術センター)
幹 事(企画)	秋山一弥	(独立法人土木研究所新潟試験所)
幹 事(企画)	飯田 肇	(立山カルデラ砂防博物館)
幹 事(編集)	尾関俊浩	(北海道教育大学岩見沢校)
幹 事(編集)	河島克久	(財団法人鉄道技術総合研究所)
幹 事(会計)	小杉健二	(独立行政法人防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所新庄支所)
幹 事(企画)	中山建生	(勤労者山岳連盟)
幹 事(企画)	町田 誠	(町田建設株式会社)
顧 問	新田隆三	(信州大農学部)

雪崩分科会ホームページ <http://www.argos-net.co.jp/bunkakai/>

雪崩分科会事務局:

(株)アルゴス・雪氷技術センター 上石 勲

編 集 担 当

(財)鉄道総合技術研究所・防災技術研究部 河島克久